

大島紬絣文様集小中柄（地詰柄）の発刊

企画支援部 ○徳永嘉美

1. はじめに

大島紬の絣文様は、世界に類を見ない精緻で独特なもので、その絣から生み出される文様は地域の文化であり、先人から受け継がれてきた歴史的な遺産でもある。当センターでは、これらの絣文様を調査復元し体系化を行っており、これまで絣文様集として、小柄（伝統柄）、小柄（無銘柄）、そして小中柄（飛び柄）を刊行してきた。本年度は引き続き小中柄（地詰柄）を復元し、大島紬絣文様集 Vol.04として発刊した。

2. 研究概要及び結果

2. 1 大島紬絣文様小中柄（地詰柄）

日本各地の織物産地における絣文様は、南方より伝播された琉球絣の影響を少なからず受けている。それに対して大島紬の絣文様は、明治になり絣締め機の発明で独特な文様が生み出され、世界に類を見ない精緻な絣文化を育むこととなった。絣締め機の開発当初は小柄しか製造できなかったが、緯絣の交代締めが考案されると徐々に柄が大きくなってきた。小柄の次に登場したのが、小中地空きの飛び柄であり、時を置かずして小中柄の地詰柄が盛んに織られるようになった。この地詰柄はその後一世を風靡する割込柄へと受け継がれ、その中でも特にカザモーシャ（風車）柄は、大島紬独特の幾何学紋様であるた龍郷柄の礎ともなっている。小中柄の地詰柄は、飛び柄と同様に大島紬発祥の地である龍郷及び笠利地区を中心に製造され、柄名も飛び柄と類似している。

編纂方法として、小中柄は規則的な絣配列構成であることと、柄が小柄に比べて大きくなるため織組織の分解図を必要とせず再現が容易であるため、織上がりを表現する仕上がり想定図のみとし299柄を復元図録した。

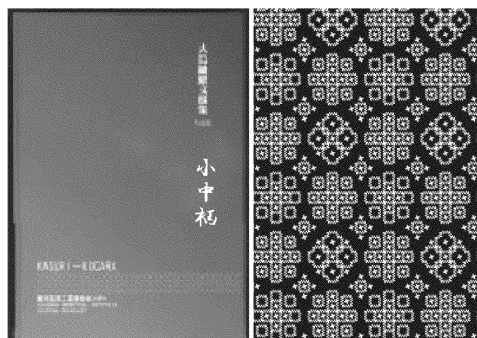


図1 大島紬絣文様集小中柄（地詰柄）

刊行した絣文様集と内容の一部を図1に示す。

2. 2 コンピュータによる仕上がり想定

絣文様集は、正確な仕上がり想定図が最も重要である。小中柄は小柄に比べて柄が大きくなるため、小柄復元で用いた汎用の画像処理ソフト（イラストレータ）が活用できないので、大島紬専用の設計CADシステムを用いることとした。ところが新タイプ（Windows版）CADでは、長絣の表現に繊細さが欠けるため、まず旧タイプ（MS-DOS版）で図柄を復元し、さらにそのデータを新タイプで取り込んで印刷用の画像データ（JPG）へ変換する手法で仕上がり想定を行った。

2. 3 コンテンツ

地詰柄は飛び柄と同様に、製造された各地区でそれぞれの特徴があり、柄名は産地名あるいは自然の事象そして身近な暮らしの道具や遊具など様々であるが、16のコンテンツにまとめることができた。コンテンツと仕上がり想定の一部を図2に示す。

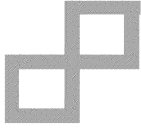



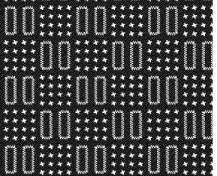
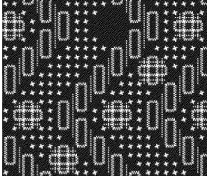

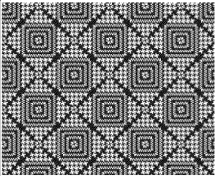
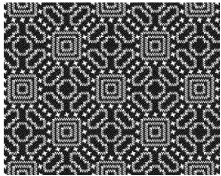

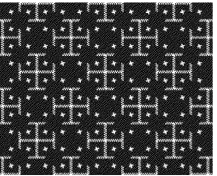
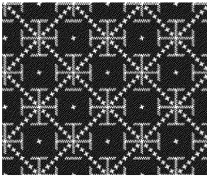

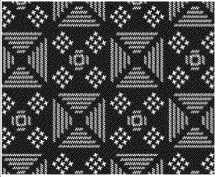
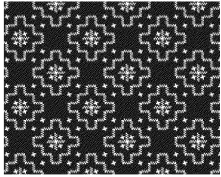

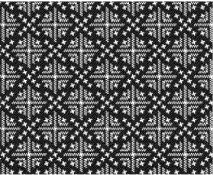
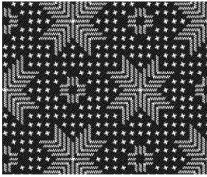
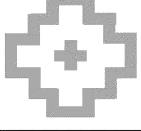
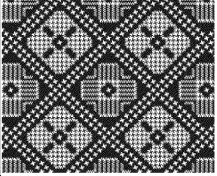
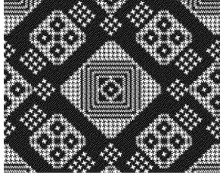

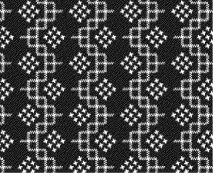
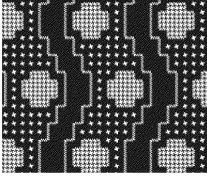

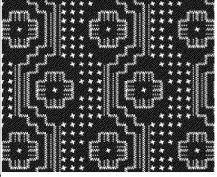
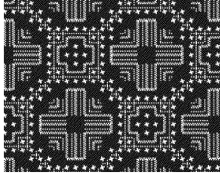

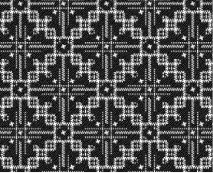


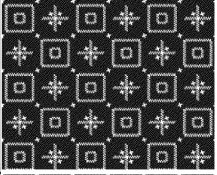
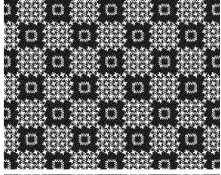
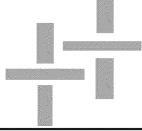
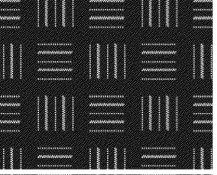
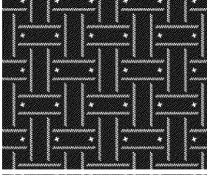

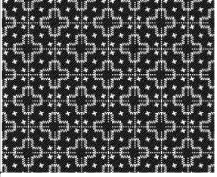
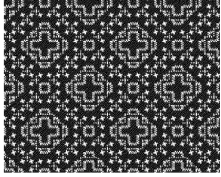

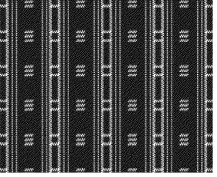
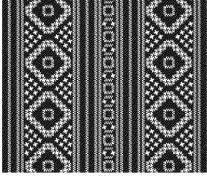



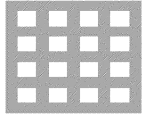
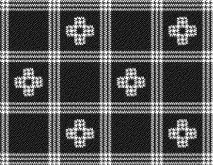
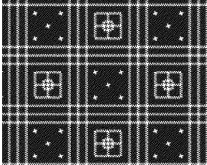
コンテンツ	仕上がり想定図		コンテンツ	仕上がり想定図	
浦 			トネ 		
ゼン 			車 		
ガモシヤ 			星 		
赤木名 			道引き 		
花 			タスキ 		
ツガ 			バラ 		
赤十字 			縞 		
喜瀬 			格子 		

図2 コンテンツと主な仕上がり想定

3. おわりに

小中柄は、同柄の繰り返しとなる割り付け柄であるため、近年の他品種少量生産にも対応できることになる。この基本柄を基に応用展開できるよう拵文様集を編纂した。本拵文様集作成に当たって、平成25年度の緊急雇用創出事業で実施した関係者の皆さんに、多大な協力を得たことに謝意を表す。